

中央区

面積 839ha 人口 90,562人 (平成17年4月)

緑の現況

中央には鴻沼川・高沼用水路が流れ、新幹線沿線の緩衝帯が連続しています。新大宮バイパスの西側には、屋敷林・農地などの緑が比較的残っている地域がありますが、全体的に緑は少なく、緑被率は市内で最も低い状況となっています。都市公園は、与野公園・与野中央公園・八王子公園などが整備されています。また、中央区は市場町・宿場町として栄えた歴史的な資源がある一方、東北部ではさいたま新都心の整備が進み、新しいまちなみが形成されています。



鴻沼川



上町氷川神社



圓乗院



与野本町通り



けやきひろば



与野公園



さいたまスーパーアリーナの壁面緑化



国道463号のケヤキ並木

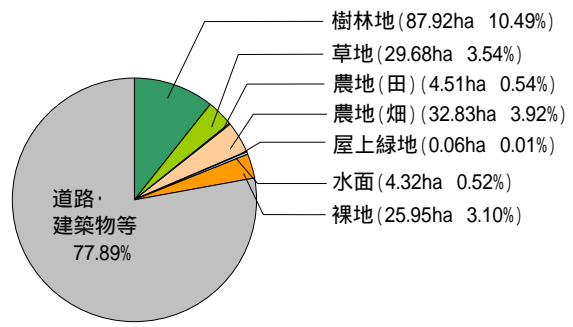
緑の現況

緑被地面積・緑被率

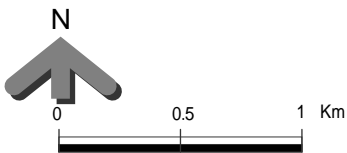
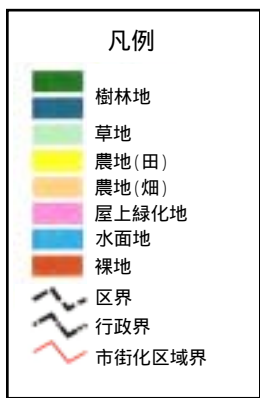
185.27ha 22.11%

区民1人当たりの都市公園面積

1.67㎡/人



緑被分布図





緑の将来目標

鴻沼川・高沼用水路の保全と活用に努めます。
公共公益施設や民有地の緑化を進めます。
歴史的資源や屋敷林などの身近な緑を活かした緑のまちづくりを進めます。
さいたま新都心周辺では、緑を積極的に創出した魅力あるまちなみの形成に努めます。
緑と水のネットワークづくりを進めます。

今後整備する主な公園など

- ・与野中央公園
- ・歩いて行ける身近な公園

緑のまちづくりに向けて

鴻沼川・高沼用水路の緑の保全と創出

- ・鴻沼川の緑の保全に努め、親しみやすい川づくりを進めます。
- ・高沼用水路の緑の保全に努め、生き物の生育や生息に配慮した整備を進めます。
- ・河川・水路周辺で魅力ある緑化を促進します。

歴史を伝える緑や身近な緑の保全・活用・整備

- ・さいたま新都心駅・与野駅・北与野駅・与野本町駅・南与野駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・上町氷川神社などの社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・生垣の助成など住宅地の緑づくりを支援します。
- ・樹林地を保全するために、保存緑地・自然緑地・都市林などを活用し、樹林地の担保性の向上を図ります。
- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。

都心における緑の創出

- ・さいたま新都心周辺では、積極的に緑を創出したまちなみづくりを目指し、緑化地域の指定を検討します。

公共公益施設や民間施設の緑化推進

- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地を緑化するコミュニティガーデンづくりを進めます。
- ・区役所や学校などの公共公益施設では、屋上緑化・壁面緑化を含めた多様な緑化に努めます。
- ・事業所や住宅地の庭と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・開発などにあわせて屋上緑化・壁面緑化などの多様な緑化を誘導します。
- ・建築物緑化の助成を進めます。

緑と水のネットワークづくり

- ・鴻沼川・高沼用水路・白神川などの水辺を軸として、公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりを進めます。
- ・与野七福神などの歴史的資源の保全とこれらを活かした歴史の散歩道ネットワークづくりに努めます。
- ・国道463号のケヤキ並木の保全と育成に努めます。また、道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。
- ・新幹線沿線の緩衝帯の緑化に努めます。

市民との協働による緑の保全と緑化の推進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のボランティアの活動を支援します。
- ・いずみ高校などの教育機関との連携による緑のまちづくりの調査研究を進めます。

中央区の緑の将来像図



凡例			
	緑の骨格軸		主な歴史・文化の緑
	主な公園緑地など (計画・構想)		花と緑の駅
	緩衝帯		学校
	街路樹・歩道などを 備えた主な道路 (計画)		直売所
	緑の帯		主な公共公益 施設
	歩行者ネットワーク		

桜区

面積 1,860ha 人口 91,292人 (平成17年4月)

緑の現況

西には荒川の河川敷が広がっています。荒川と鴨川に挟まれるように、屋敷林や農地が点在する地域があり、緑の多い田園的な面影を残しています。東部や南部は、住宅を中心とする市街地が形成される地区です。また、桜区は古墳群や神社仏閣などの歴史的資源が多く残されているのが特徴です。都市公園は、荒川の河川敷に、桜草公園・秋ヶ瀬公園・荒川総合運動公園などの大規模な公園が整備されていますが、市街地の中で身近な公園の計画的な整備が必要です。



荒川



田島ヶ原サクラソウ自生地



荒川総合運動公園



鴨川



鴻沼川と秋ヶ瀬緑道



鴨川堤桜通り公園



プラザウエスト・桜区役所

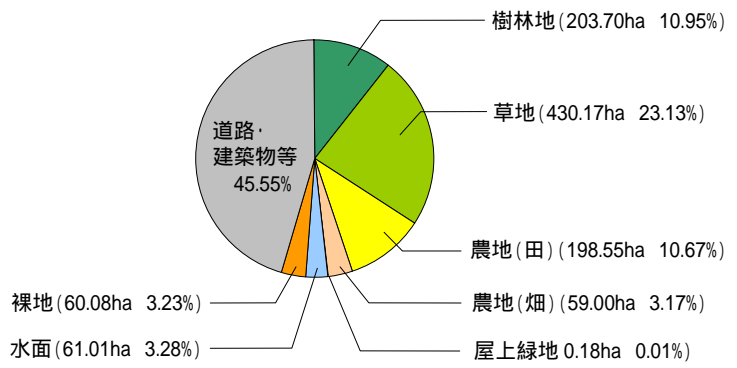


田島氷川神社

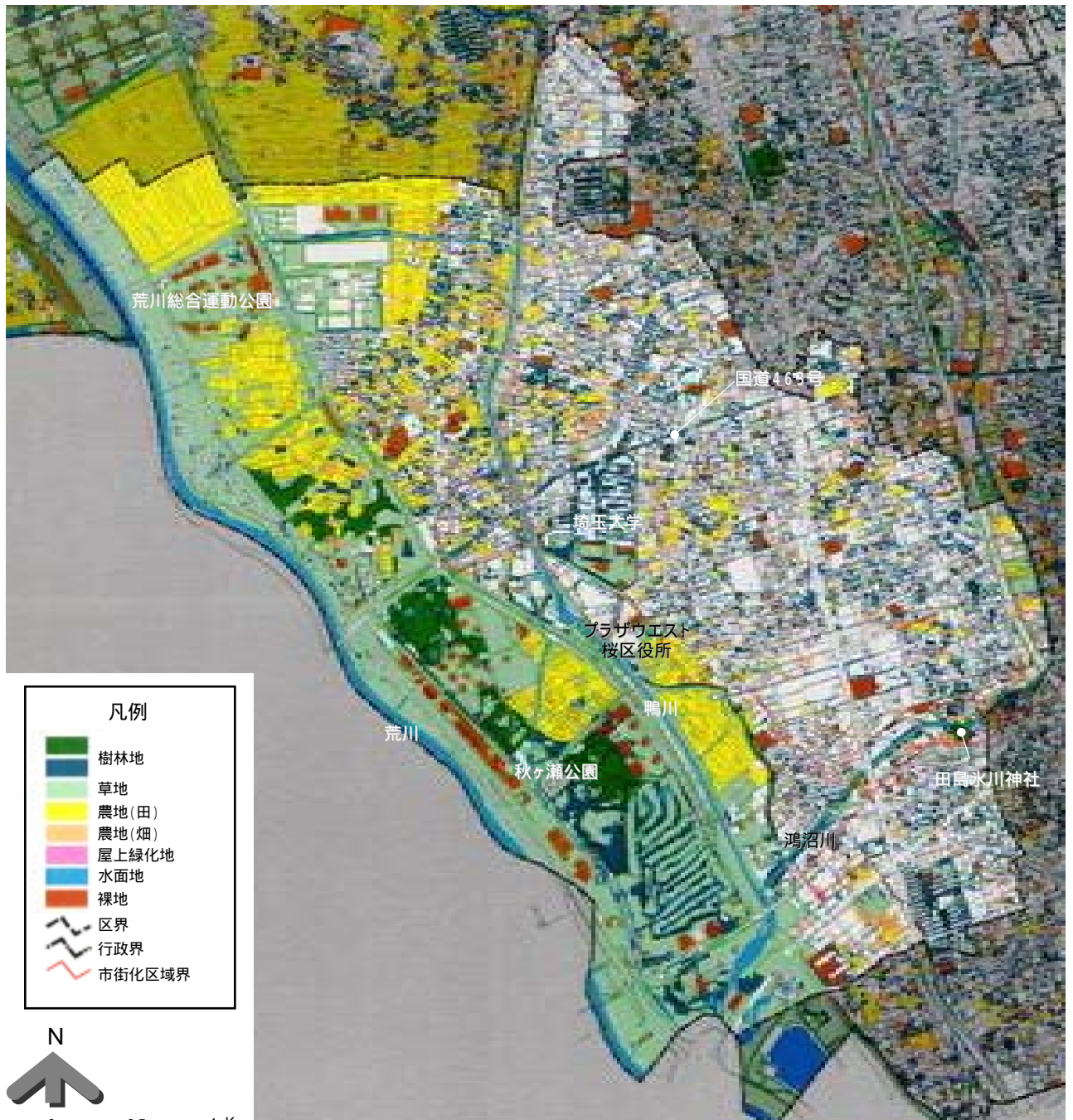
緑の現況

緑被地面積・緑被率
 1,012.69ha 54.45%

区民1人当たりの都市公園面積
 18.48m²/人



緑被分布図





緑の将来目標

- 荒川と周辺の自然環境を守り、育てます。
- 歴史的資源や屋敷林などの身近な緑を活かした緑のまちづくりを進めます。
- 公共公益施設や民有地の緑化を進めます。
- 緑と水のネットワークづくりを進めます。

今後整備する主な公園など

- ・秋ヶ瀬公園
- ・荒川彩湖公園
- ・西堀高沼公園
- ・歩いて行ける身近な公園

緑のまちづくりに向けて

荒川と周辺の緑の保全・活用

- ・国指定特別天然記念物の田島ヶ原サクラソウ自生地などの貴重な自然環境の保全に努めます。
- ・広域的なエコロジカル・ネットワークの拠点を目指します。
- ・自然環境に配慮したスポーツ・レクリエーションの場づくりと、高規格堤防や調節池の整備を検討します。
- ・鴨川や鴻沼川などの河川では、親しみやすい川づくりを進めます。
- ・自然環境と調和した、まとまりのある農地を保全します。

歴史を伝える緑や身近な緑の保全・活用・整備

- ・社寺林・古墳などの歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・西浦和駅・中浦和駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・樹林地を保全するために、保存緑地・自然緑地・都市林などを活用し、樹林地の担保性の向上を図ります。
- ・生垣の助成など住宅地の緑づくりを支援します。
- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。

公共公益施設や民間施設の緑化推進

- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地を緑化するコミュニティガーデンづくりを進めます。
- ・区役所や学校などの公共公益施設では、屋上緑化・壁面緑化を含めた多様な緑化に努めます。
- ・事業所や住宅地の庭と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・埼玉大学などの緑の保全と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・開発などにあわせて屋上緑化・壁面緑化などの多様な緑化を誘導します。
- ・建築物緑化の助成を進めます。

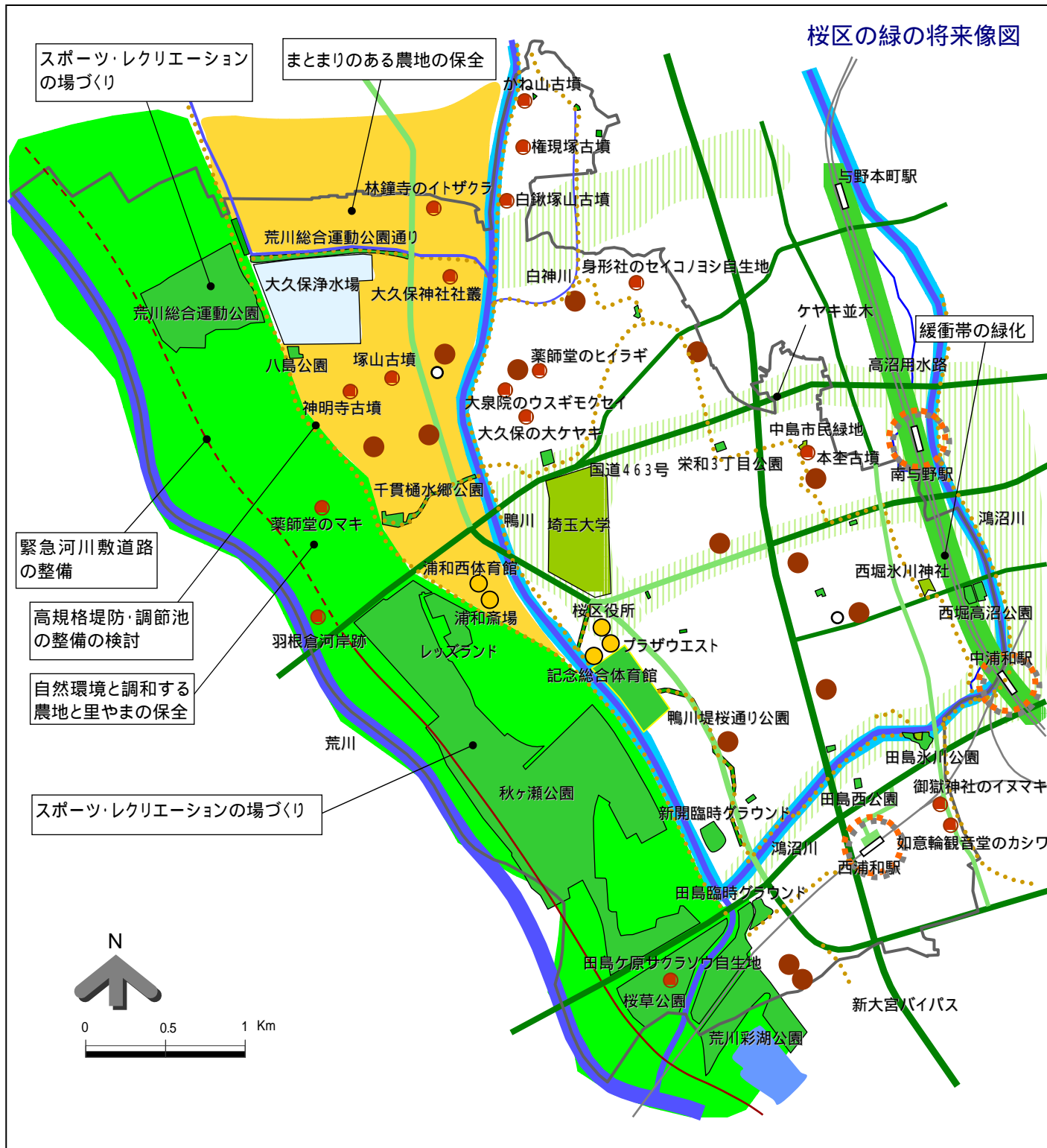
緑と水のネットワークづくり

- ・荒川・鴨川・鴻沼川・白神川などの水辺を軸として、公園や歴史的資源を結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。
- ・国道463号のケヤキ並木の保全と育成に努めます。また、道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。
- ・新幹線沿線の緩衝帯の緑化に努めます。

市民との協働による緑の保全と緑化の推進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のボランティアの活動を支援します。
- ・埼玉大学などの教育機関との連携による緑のまちづくりの調査研究を進めます。

桜区の緑の将来像図



凡例			
	荒川シンボル軸		条例などによる緑地
	緑の骨格軸		主な歴史・文化の緑
	低地部の広がりのある農地		花と緑の駅
	主な公園緑地など		緑の帯
	(計画・構想)		緩衝帯
			街路樹・歩道などを備えた主な道路(計画)
			歩行者ネットワーク
			学校
			直売所
			主な公共施設